

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	魅力ある観光のまちづくり事業		実施期間	平成23年～平成25年	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	笠置町は、京都と奈良の間、木津川上流の山峡に歴史とロマンを素朴にたどらせる静かな史跡・景勝のまちです。当町は、地形条件に恵まれず、人口は減少傾向を見せていますが、訪れる人は年間30万人を越える規模となっています。少子高齢化の進む当町にとって、魅力ある観光のまちづくりは、町を活性化させることから住民ニーズは高い。							
プロジェクトの目的及び概要	美しい自然と、史跡にめぐまれた笠置町の魅力を改めて見直し、様々な事業を通じて笠置ファンを拡大させる。							
	総事業費（千円）	30,599	本年度事業費（千円）	6,191	交付金額（千円）	1,500		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	観光イベント事業（もみじ公園ライトアップ事業）	交付対象事業	笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうために11月中開催する			延べ150人程度の集客		
	笠置町観光協会補助金	〃	笠置町の観光宣伝及び観光客の誘致を行っている観光協会に対し補助を実施。			観光パンフレット20,000部作成・配布、夏まつり・もみじまつり実行委員会の事務局を担当		
	観光イベント事業（駅前装飾委託）	〃	観光客を華やかに迎えるため、笠置駅前を中心に春・夏・秋の季節に造花の飾り付けを実施。			駅前を中心に、春は桜、夏は青葉、秋には紅葉の飾り付けを実施		
	観光イベント委託（もみじまつり事業）	〃	笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうために、もみじ公園ライトアップ期間中におけるイベント委託			笠置山もみじウォーキング、音楽会、特産品即売会等実施し、期間中800人の集客		
	各種イベント報償（フォトコンテスト）	〃	笠置町の四季折々の自然景観・史跡・文化財・観光施設・祭事等笠置町の観光宣伝などに役立つもののフィルムカメラ、デジタルカメラによる作品を募集します			8人13作品応募で、6人6作品が受賞 鍋フェスタ開催時に表彰		
	伝統的行催事委託	〃	8月実施の伝統行催事（灯ろう流し等）の委託。			800個の紙製灯ろうを流す		
	観光イベント事業（夏まつり事業補助金）	〃	笠置町の自然と緑あふれる魅力を多くの方に知ってもらうため、夏まつり実行委員会主催のイベントへ支援			子ども向け企画「魚つかみ」からメインイベントの「花火大会」の実施までを合わせて、約5,000人の集客		
	観光案内人育成事業	〃	笠置の歴史や自然を学び、笠置を訪れる観光客の方に町の史跡や自然景観等を案内いただく観光ボランティアの育成を図る。			全11回の開催で町内外延100人が受講		
	河川敷草刈委託（河川敷の草刈り事業委託）	関連事業	数多くの観光客が来る笠置キャンプ場にある河川敷の施設を快適に利用してもらうため、施設周辺の草刈りを委託。					
全国ご当地鍋フェスタ（国民文化祭事業）	〃	きじ鍋のまち笠置町を全国にアピールするとともに、全国のご当地鍋を来場者が食べ・投票し全国ご当地鍋グランプリを決定する。			きじ鍋のまち笠置町をアピールするとともに、全国のご当地鍋ナンバー1を決めるイベントを開催し、約6,500人の集客			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 笠置町

成果指標①	成果指標の目標数値	入込観光客数 H21：32万人 → H25：35万人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	286,318人 (平成23年1月1日～平成23年12月31日)
	成果指標の達成状況	－	(左の理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	(時期) 平成25年度末
成果指標②	成果指標の目標数値	笠置ファン登録者数 H21：500人 → H25：800人		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	726人 (平成24年3月31日時点)
	成果指標の達成状況	－	(左の理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	成果指標の目標数値が25年度目標と途中段階であるため	(時期) 平成25年度末
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた 効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	<p>国民文化祭事業として実施した「全国ご当地鍋フェスタ」では、この小さな笠置町に約6,500人もの観光客が来場され、新たに笠置町の魅力を発信する機会を得ることができたとともに、入込客数や笠置ファン登録者数の増加に大きく貢献したところ。今後も様々な観光振興の取組を行いながら、笠置町の魅力を発信し、成果指標の達成に向けた取組を推進する。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名： 笠置町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	歴史・文化イベント、自然・環境イベント及び食文化イベントと幅広い事業展開が図れた。
	府と市町村等との連携に資する成果	地域イベント助成事業の活用が図れた。
	住民の自治意識を高める成果	各種イベント等を通じて、笠置の魅力の再発見するとともに観光に対する意識が高まる。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。